

デジタルタトゥー

就職活動への影響・過去の投稿管理・リスク回避 | 50分

対象: 高校1~3年生 | 授業時間: 50分(1コマ)

準備物: スライド(プロジェクター)、ワークシート(P.4)、生徒用端末(あれば)

ねらい: 過去の投稿が将来に与える影響を理解し、デジタル上の自分を管理する力を育てる

このテーマで扱う3つの柱

1. 就職活動への影響 —— 企業は必ず見ている

採用担当者の約7割がSNSチェックを実施。たった1つの投稿で内定取り消しも現実には起きている

2. 過去の投稿管理 —— 「デジタルクリーニング」の方法

自分の名前をエゴサーチ、過去投稿の棚卸し、削除・非公開化の具体的手順を実践する

3. リスク回避 —— 未来の自分を守る投稿術

投稿前の思考フレームワーク「THINK」、プライバシー設定、デジタルレピュテーションの構築

授業の流れ(50分)

0~5分 導入 「あなたの名前を検索したら、何が出てくる？」

5~15分 展開1 デジタルタトゥーとは？ 就職活動への実際の影響

15~30分 展開2 過去の投稿を棚卸ししよう(デジタルクリーニング実習)

30~40分 展開3 リスク回避の投稿術 —— THINKフレームワーク

40~50分 まとめ デジタルレピュテーション戦略・ワークシート記入

準備物チェックリスト

- プロジェクター + PC(事例・統計データの提示用)
- ワークシート(P.4を人数分コピー)
- この指導案資料(印刷して手元に)
- 生徒用端末(エゴサーチ・過去投稿チェック実習用・なくても可)

指導のコツ

高校生は就職・進学が目前。「将来の自分に影響する」というリアリティが最大の動機づけ。「SNSをやめる」ではなく「賢く管理する」スタンスで。デジタルは武器にもなると伝える。

指導のポイント

■ 導入(5分) 「あなたの名前を検索したら?」

- 「自分の名前をGoogleで検索したことがある人?」と問いかけ。
→ エゴサーチ(自分の名前を検索すること)で何が出てくるかを考えさせる。
→ 「企業の採用担当者も、まさにこれをやっている」という事実を提示。

衝撃データ:

- ・採用担当者の約7割がSNSチェックを実施(民間調査)
- ・SNSが原因で内定取り消し・不採用になった事例は年間数百件

板書ガイド

板書: 「あなたの名前 + Google = 採用担当者の第一印象」

■ 展開1(10分) デジタルタトゥーと就職活動への影響

- 【デジタルタトゥーとは?】
ネットに公開された情報が、入れ墨のように半永久的に残り続けること。
削除しても、キャッシュ・スクショ・魚拓サイトに残る可能性がある。

採用担当者がSNSでチェックするポイント

- (1) 不適切な写真・動画 —— 飲酒・喫煙(未成年)、悪ふざけ、暴力的な内容
- (2) 誹謗中傷・差別的発言 —— 特定の人や集団への攻撃的な書き込み
- (3) 法令違反の痕跡 —— 無免許運転、違法薬物、著作権侵害の自慢
- (4) 企業・他者への悪口 —— 前のバイト先の愚痴、面接の感想を暴露
- (5) 人格との乖離 —— 面接では礼儀正しいのにSNSでは攻撃的

板書ガイド

板書: 企業が見る → (1)写真 (2)発言 (3)法令違反 (4)悪口 (5)人格の矛盾

■ 展開2(15分) デジタルクリーニング実習

生徒が自分の過去の投稿を振り返り、リスクのある投稿を特定する実習。
端末がない場合は、P.4のワークシートで「思い出し棚卸し」を実施。

STEP 1 エゴサーチ

自分の名前(本名・ニックネーム)でGoogle検索

STEP 2 過去投稿の棚卸し

各SNSで過去1年分の投稿を確認。リスク投稿にマーク

STEP 3 削除・非公開化

リスクのある投稿を削除 or 非公開に変更

STEP 4 設定の見直し

プライバシー設定・タグ付け設定・位置情報を再確認

実践のヒント

端末がある場合は、授業中に実際にエゴサーチさせると効果絶大。
ない場合は「帰宅後にやること」として具体的な手順を書き出させる。

■ 展開3(10分) THINKフレームワーク

投稿前に5つの問いで立ち止まる「THINK」フレームワークを紹介。

THINK —— 投稿前の5つの問い

- | | |
|----------------|----------------------------|
| T - True? | (本当か?) —— その情報は事実に基づいているか? |
| H - Helpful? | (役に立つか?) —— 誰かの役に立つ内容か? |
| I - Inspiring? | (前向きか?) —— ポジティブなメッセージか? |
| N - Necessary? | (必要か?) —— 今これを投稿する必要があるか? |

■ まとめ(10分) デジタルセキュリティ戦略を傷つける内容ではないか?

デジタルタトゥーは「リスク」だが、逆に活かせば「武器」にもなる。
ボランティア活動の発信、ポートフォリオ公開、専門知識の共有 → プラスの評判づくり。
「消す」だけでなく「良い足跡を残す」意識を持たせてワークシート記入。

指導に役立つ用語解説(10語)

デジタルタトゥー

ネット上の情報が入れ墨のように半永久的に残ること。削除しても痕跡が残る。

エゴサーチ

自分の名前やハンドルネームで検索し、ネット上の評判を確認すること。

デジタルレピュテーション

ネット上の評判・信用。就職・進学・対人関係に影響する「もう一つの自分」。

キャッシュ

検索エンジンが保存しているWebページのコピー。本体を消しても残ることがある。

魚拓(ウェブアーカイブ)

Webページを丸ごと保存するサービス。削除しても第三者が保存済みの場合がある。

ソーシャルリスニング

企業がSNS上の口コミや評判を収集・分析する手法。採用にも活用されている。

THINKフレームワーク

投稿前に5つの問い(True/Helpful/Inspiring/Necessary/Kind)で判断する方法。

プライバシー設定

SNSの公開範囲を管理する設定。初期設定が「公開」のサービスが多い点に注意。

OSINT

Open Source Intelligence。公開情報から個人を特定する技術。SNS投稿も対象。

忘れられる権利

検索結果からの個人情報削除を求める権利。日本でも判例が蓄積されつつある。

事例カード(グループ議論用)

事例A: 内定取り消し

大学4年生。内定先の企業がSNSを調査し、大学1年時に投稿した飲酒・悪ふざけ写真を発見。内定取り消し。「3年前の投稿」が人生を変えた。

事例B: 推薦入試に影響

高3の夏、指定校推薦の面接前に大学側がSNSをチェック。バイト先の客への愚痴投稿が見つかり、面接で追及→推薦辞退に追い込まれた。

事例C: バイトテロの代償

高校生がバイト先の飲食店で不衛生な行為を撮影・投稿。翌日から大炎上。退学処分+店舗は営業停止+保護者に約2000万円の損害賠償請求。

事例D: 逆転のデジタル活用(成功例)

高校時代からプログラミング学習の記録をSNSとブログで公開。ポートフォリオとして評価され、IT企業から逆スカウト。デジタルが「武器」になった例。

よくある質問(生徒から出やすい質問)

Q. 鍵アカなら就活に影響しない?

→ フォロワーがスクショすれば拡散する。また、企業によってはフォロー申請して確認するケースも。

Q. 昔の投稿を全部消したいけど量が多すぎる…

→ 各SNSに「一括削除」や「アーカイブ」機能がある。優先順位を決めてリスク高いものから対処。

Q. 投稿しなければ安全?

→ 「何も出てこない」のも不自然に見られることがある。プラスの足跡を残す発想も大切。

デジタルタトゥー ワークシート

～あなたのデジタルな足跡を管理しよう～

名前: _____ 年 組 番 _____ 日付: 月 日

Q1. エゴサーチしてみよう(帰宅後に実施してもOK)

検索した名前 / ニックネーム: _____

見つかった情報(概要): _____

リスクのある情報はあったか:

(あり / なし / 確認中)

Q2. デジタルクリーニング計画 —— 対処が必要な投稿を記録

対処1: SNS名: _____ 内容: _____ 対処: _____

対処2: SNS名: _____ 内容: _____ 対処: _____

対処3: SNS名: _____ 内容: _____ 対処: _____

Q3. THINKフレームワーク —— 各項目を自分の言葉で書こう

T - True?(本当か?) _____

H - Helpful?(役に立つか?) _____

I - Inspiring?(前向きか?) _____

N - Necessary?(必要か?) _____

K - Kind?(やさしいか?) _____

Q4. 実例カードを分析(事例)

何がデジタルタトゥーになったか?

どうすれば防げたか?

わたしのデジタルレピュテーション戦略

将来の自分のために、デジタル上で心がけること(消す+良い足跡を残す):